

3) 住

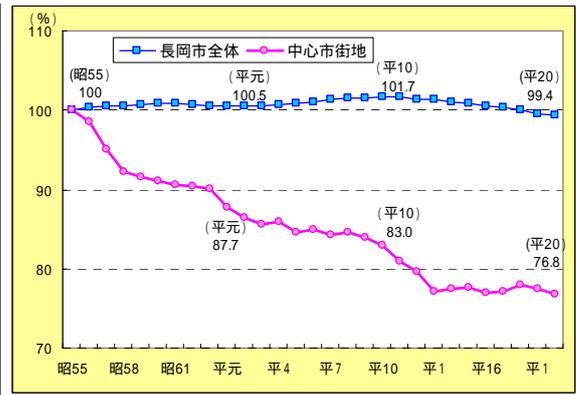
中心市街地の活力の向上

長岡市の中心市街地の人口は昭和 55 年に比べて約 3 割減少している一方で、長岡市全体では人口は微増であることから、旧長岡市の区域で空洞化が進行していることがうかがえる。中心市街地での歩行者・自転車の通行量の減少、購買力の低下が顕著であり、空き店舗も目立つなど、活力の低下が著しい。



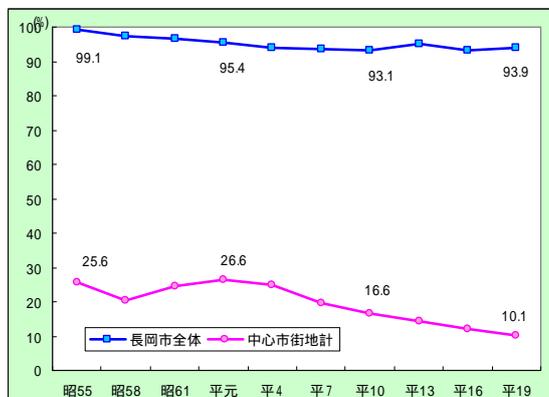
【出典】長岡市中心市街地活性化基本計画

図 5-74 主要 14 地点の歩行者・自転車通行量



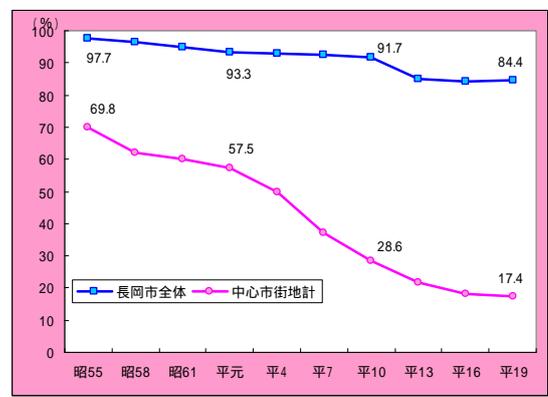
【出典】長岡市中心市街地活性化基本計画

図 5-75 人口の推移
(昭和 55 年を 100 とする増減)



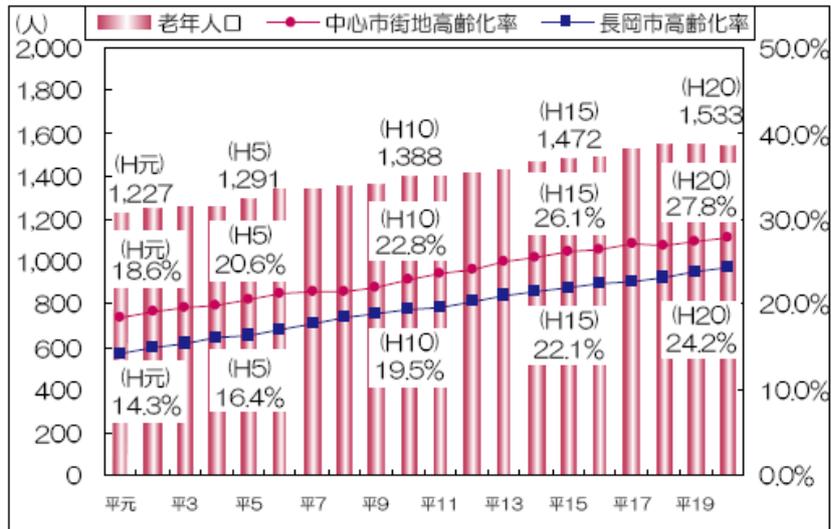
【出典】中心市街地に関する県民意識消費者動向調査

図 5-76 中心市街地の買い物利用割合
(最寄品)



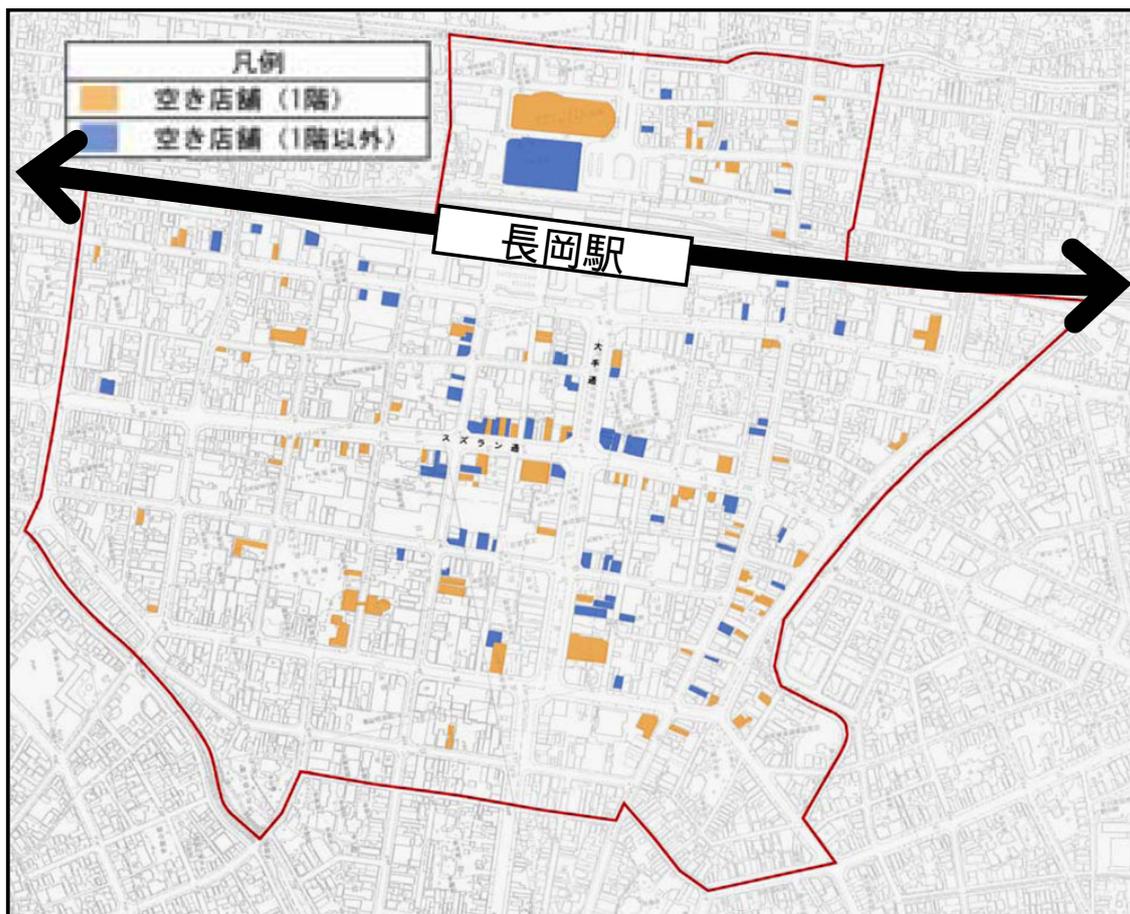
【出典】中心市街地に関する県民意識消費者動向調査

図 5-77 中心市街地の買い物利用割合
(買回り品)



【出典】長岡市中心市街地活性化基本計画

図 5-78 中心市街地の老年人口及び高齢化

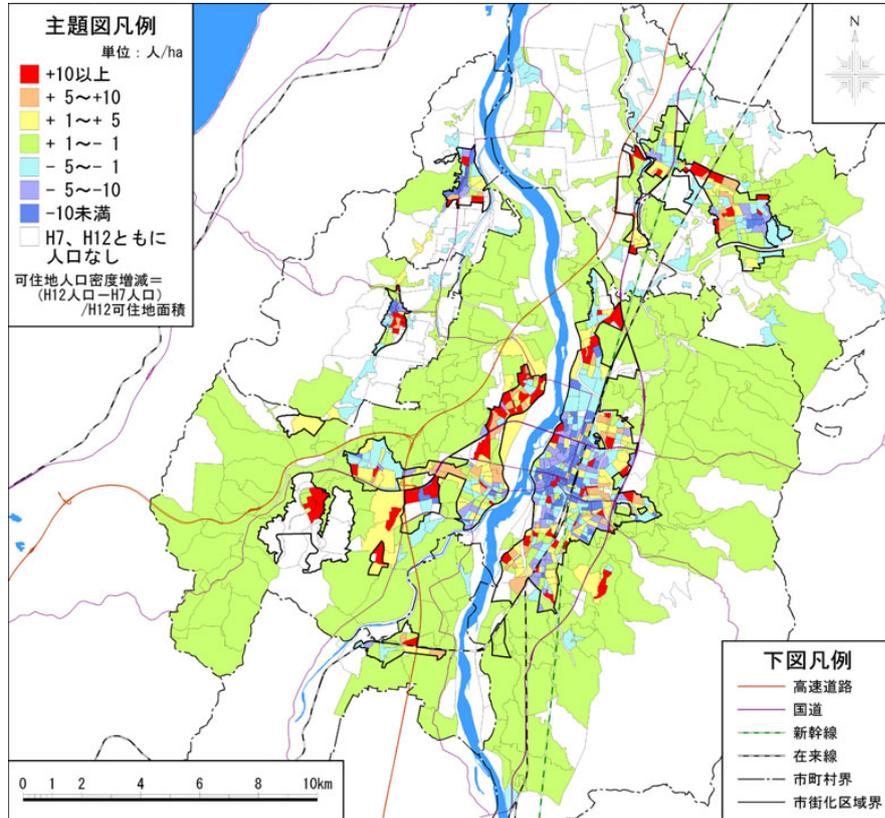


【出典】長岡市中心市街地活性化基本計画

図 5-79 中心市街地で顕在化する空き店舗

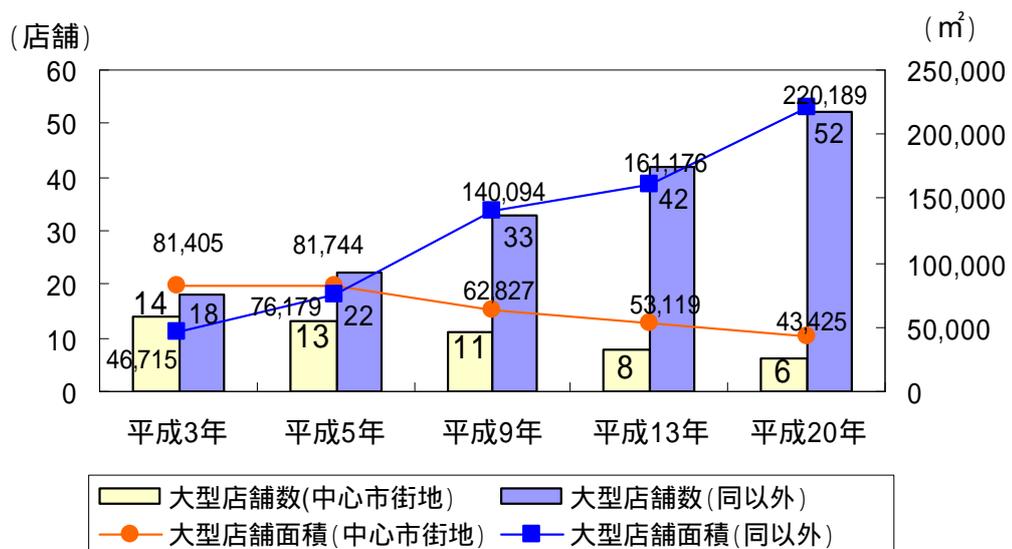
長岡市で拡張する市街地

長岡市（合併前）では、全体の人口増加はみられるものの、中心部での人口が減少し、郊外部へ市街地が広く、薄く拡散する傾向にある。あわせて、郊外型店舗の立地等による中心機能の低下が懸念される。



【出典】新潟県「都市のすがた長岡都市計画区域」（平成 18 年）

図 5-80 郊外へ薄く広がる市街地



【出典】長岡市中心市街地活性化基本計画

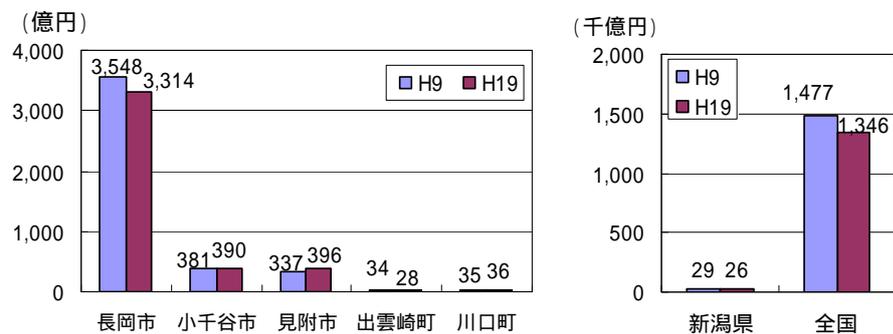
図 5-81 長岡市における大型店舗の推移（1,000 m²以上）

商圈は旧長岡市の範囲に収束、小千谷市、見附市では自市内での小売販売額が増加
 小売販売額では、小千谷市、見附市で増加の反面中心都市である長岡市で減少し
 ている。小売店舗数は全体に減少しており、店舗の大型化が進行している。小売販
 売額、小売店舗数共に全国の傾向とほぼ同様の傾向を示す中で、見附市の小売販
 売額は増加している。

1 k m²あたりの小売店舗数は他都市に比べ少なく、買い物するにも移動距離が長
 く、自家用車や公共交通を利用せざるを得ない状況にある。

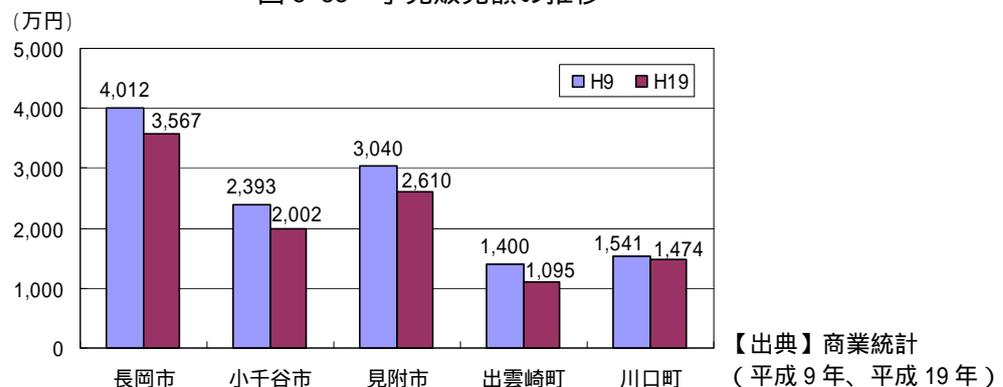
長岡市を中心とする商圈は、第三次商圈まで含めると都市圏を超え中越地方全般
 を吸引しているが、平成 16 年から平成 19 年の間に長岡市の第一次商圈は、旧長岡
 市及び見附市に吸引されている。

< 商業の状況 >



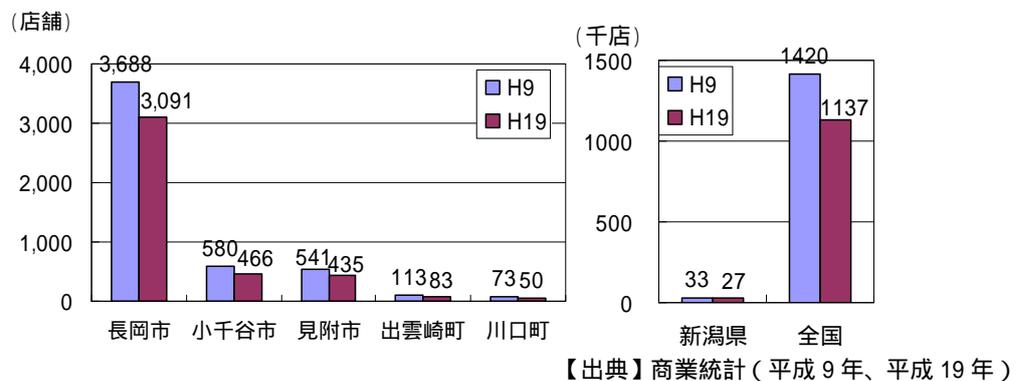
【出典】商業統計 (平成 9 年、平成 19 年)

図 5-83 小売販売額の推移



【出典】商業統計 (平成 9 年、平成 19 年)

図 5-84 一人当たり小売販売額の推移



【出典】商業統計 (平成 9 年、平成 19 年)

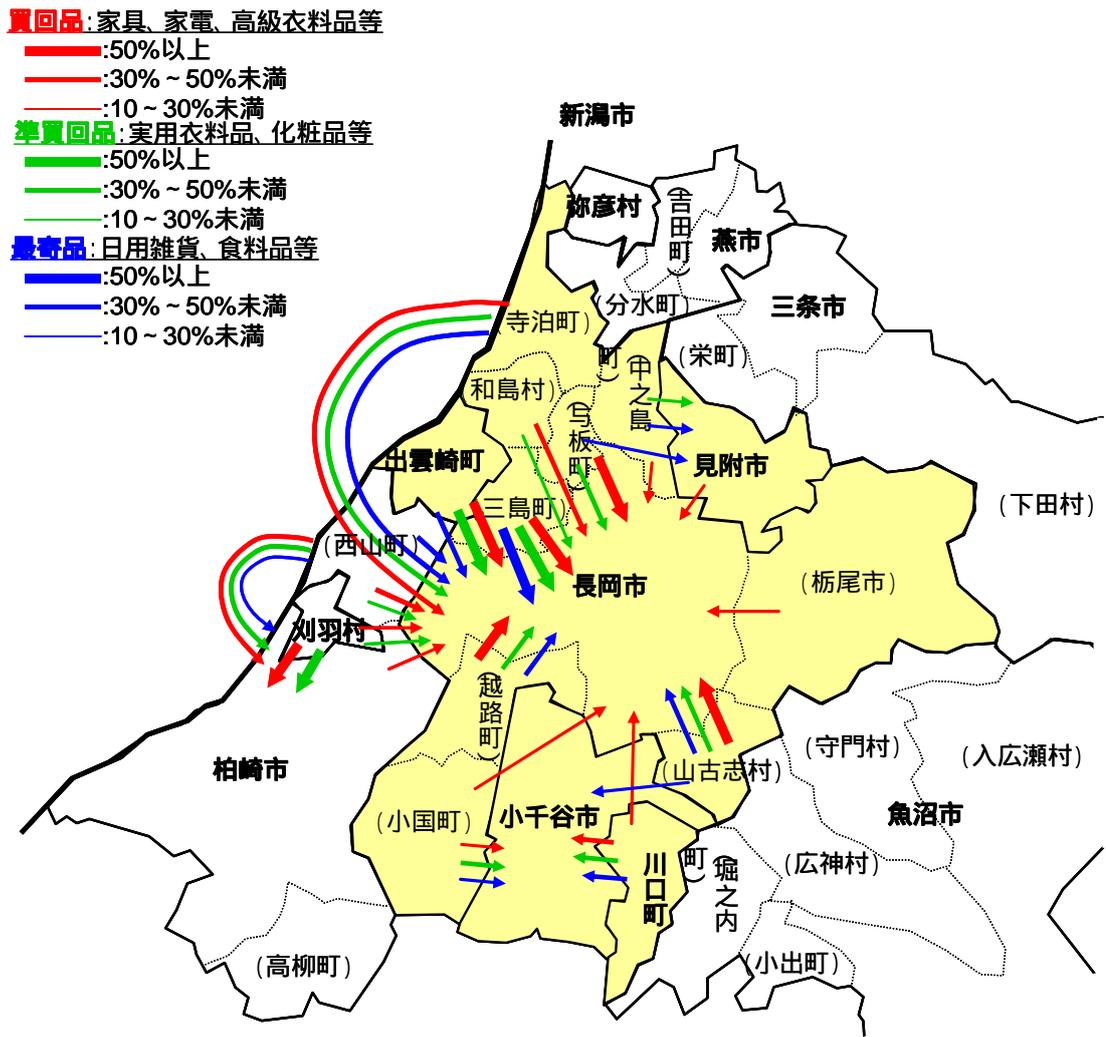
図 5-85 小売店数

旧長岡市の郊外に展開する大規模小売店舗の出店が周辺の買物需要を吸引

家具、家電、高級利用品等の買回品および実用衣料品、化粧品等の準買回品の買い物動態は、旧長岡市へ移動し買い物をする割合が高い。

日用雑貨、食料品等の最寄品については、地元での買い物割合が高いが、買回品、準買回品同様、旧長岡市へ移動し買い物をする割合が高い。

柏崎市から旧長岡市への買回品の動向もうかがえるが、最寄品、準買回品ともに自市内で完結し、旧西山町からの動向が強い。



【出典】中心市街地に関する県民意識消費者動向調査

図 5-87 長岡市における買い物動態

表 5-10 消費者購買動向（旧市町村）

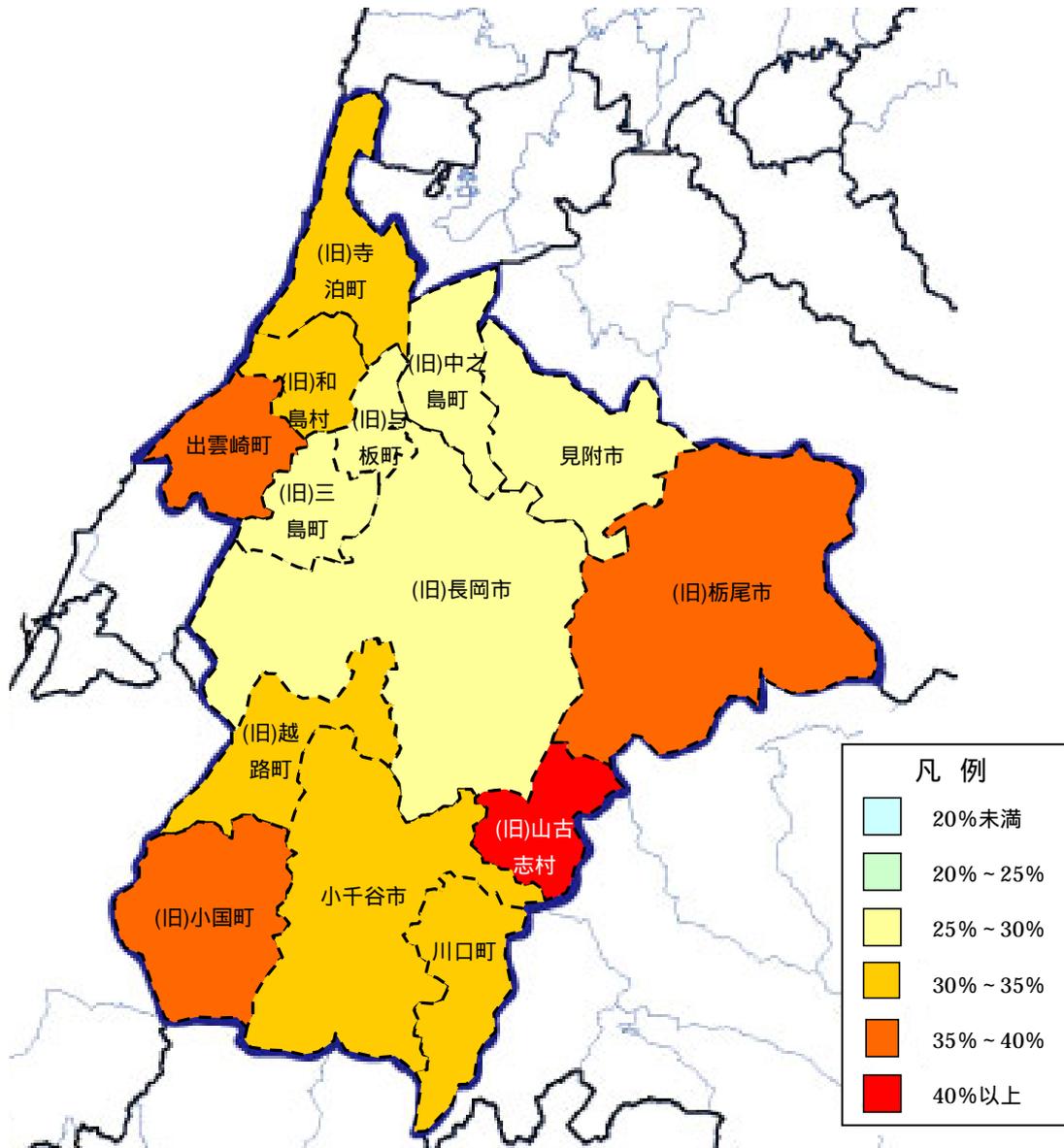
旧長岡市	地元内	県内(地元外)	旧寺泊町	地元内	県内(地元外)
買回品	84.4%	8.7%	買回品	6.9%	88.5%
準買回品	94.4%	6.9%	準買回品	8.7%	81.2%
最寄品	93.9%	4.1%	最寄品	36.6%	61.5%
旧越路町	地元内	県内(地元外)	旧与板町	地元内	県内(地元外)
買回品	7.0%	88.8%	買回品	9.0%	80.8%
準買回品	8.5%	81.9%	準買回品	18.6%	68.7%
最寄品	34.6%	64.5%	最寄品	54.0%	43.8%
旧山古志村	地元内	県内(地元外)	小千谷市	地元内	県内(地元外)
買回品	0.0%	98.1%	買回品	58.1%	34.3%
準買回品	0.0%	89.5%	準買回品	72.2%	17.8%
最寄品	0.6%	99.4%	最寄品	87.9%	10.5%
旧三島町	地元内	県内(地元外)	出雲崎町	地元内	県内(地元外)
買回品	1.7%	90.8%	買回品	4.3%	93.0%
準買回品	1.4%	89.6%	準買回品	6.9%	85.0%
最寄品	10.1%	89.0%	最寄品	13.5%	85.5%
旧小国町	地元内	県内(地元外)	見附市	地元内	県内(地元外)
買回品	4.9%	38.2%	買回品	42.8%	51.0%
準買回品	3.7%	55.3%	準買回品	61.8%	29.0%
最寄品	39.6%	43.1%	最寄品	87.7%	11.0%
旧和島村	地元内	県内(地元外)	川口町	地元内	県内(地元外)
買回品	11.9%	82.3%	買回品	5.0%	87.3%
準買回品	9.8%	82.9%	準買回品	8.0%	87.9%
最寄品	31.2%	68.1%	最寄品	24.6%	73.6%
旧栃尾市	地元内	県内(地元外)	柏崎市	地元内	県内(地元外)
買回品	33.6%	58.6%	買回品	68.9%	22.5%
準買回品	53.1%	37.7%	準買回品	78.7%	12.4%
最寄品	79.9%	19.0%	最寄品	91.4%	7.0%
旧中之島町	地元内	県内(地元外)	旧西山町	地元内	県内(地元外)
買回品	7.5%	88.4%	買回品	9.0%	81.9%
準買回品	11.6%	83.2%	準買回品	10.9%	79.7%
最寄品	26.3%	72.7%	最寄品	47.2%	52.3%

【出典】新潟県資料

中山間地域の集落の存続が危ぶまれる

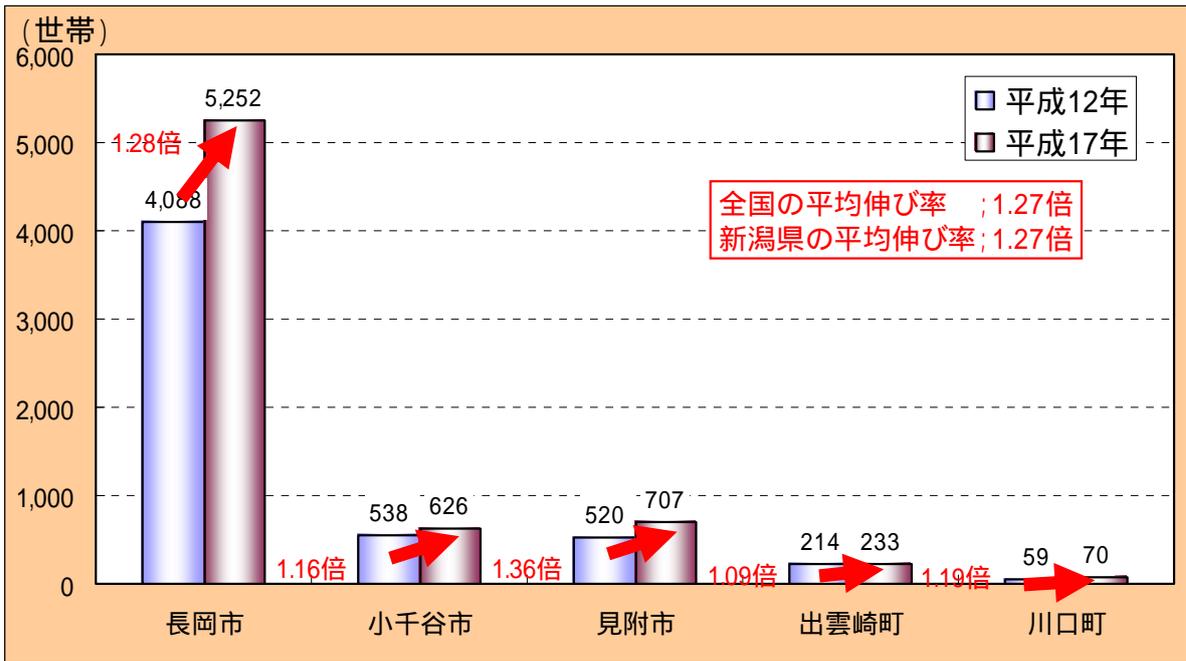
長岡都市圏では、旧長岡市の周辺地域で高齢化が進展すると推計されている。

長岡都市圏の高齢化の進展と共に、高齢者の単身世帯も増加傾向にあり、中山間地域での独居の高齢者世帯の顕在化が懸念される。



【出典】わが国の将来人口推計（国立 社会保障人口問題研究所）

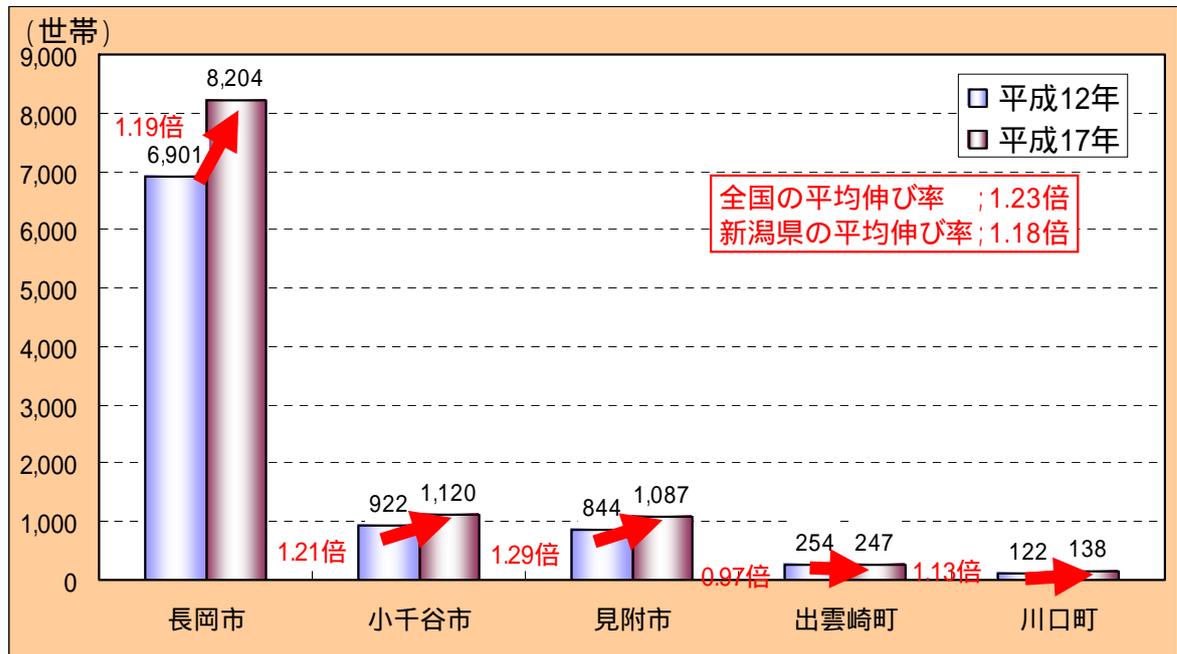
図 5-88 地域（旧市町村）別高齢化率の将来予測（平成 27 年）【再掲】



高齢者単身世帯：65歳以上の単身世帯

【出典】国勢調査

図 5-89 高齢単身世帯の推移



高齢者夫婦世帯：夫婦のみの世帯でいずれかまたは両方が65歳以上の世帯

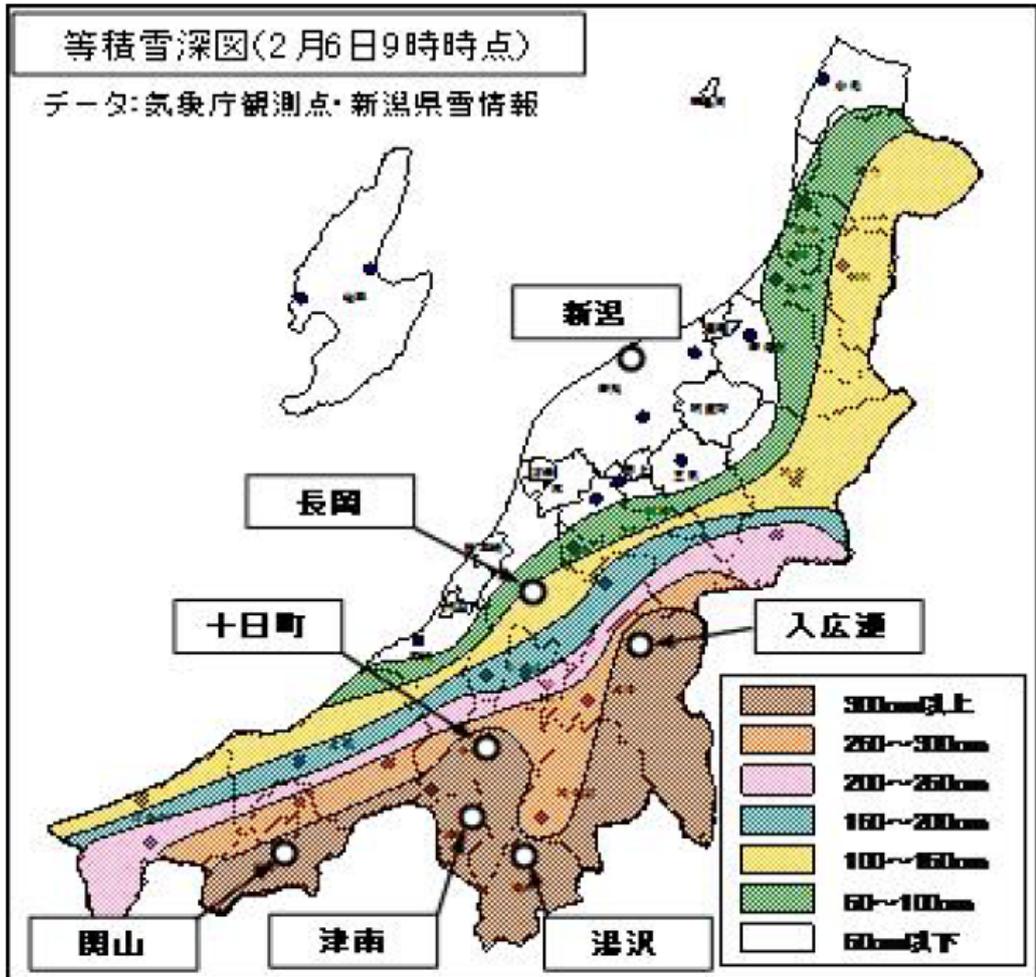
【出典】国勢調査

図 5-90 高齢夫婦世帯の推移

中山間地域での日常生活を脅かす「雪」への対応が必要

豪雪地帯に指定される長岡都市圏では、中山間地域を中心に多くの積雪があり、幹線道路の閉鎖などの交通障害や除雪、屋根の雪下ろしなど、生活環境は厳しい。

中山間地域では、降雪により幹線道路が不通となった場合、集落が孤立する可能性がある。また、中山間地域では高齢化が著しく、雪下ろしなどが自力で行えなくなる世帯もあり、適切な支援が必要となっている。



【出典】新潟県「平成 18 豪雪による被害と対応状況」

図 5-91 H18 豪雪時の降雪量

表 5-11 H18 豪雪時の被害状況

新潟県豪雪対策本部
平成 18 年 3 月 31 日 10 時現在

区分	人的被害(人)				建物被害(棟)					
	死亡者	重傷者	軽傷者	合計	住家被害					非住家被害
					全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水	
新潟県計	31 [26] (3)	112 [59] (25)	176 [88] (16)	319 [173] (44)	1	2	70	4	18	235

※ []は、昨年冬の被害状況。()は、一昨年冬の被害状況。

【出典】新潟県「平成 18 豪雪による被害と対応状況」



【出典】新潟県「平成 18 豪雪による被害と対応状況」

図 5-92 雪庇の処理（国道 252 号）



除雪ボランティア「遊雪隊（ゆうせつたい）」（川口町）：
町や社会福祉協議会の事業対象とならない高齢者世帯等を対象に屋根雪の除雪を行う。



【出典】新潟県「雪対策先進事例集」

図 5-93 ボランティアによる雪下ろし

